

会議録様式

附属機関等の 名称	杉戸町上水道事業経営審議会
会議名	第3回杉戸町上水道事業経営審議会会議
開催日時	令和7年11月12日(木) 13:30開会
開催場所	杉戸町上下水道課2階会議室
議題	(1) 杉戸町水道事業経営戦略(案)について ～第5章から第8章まで～ ～質疑応答～
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開(公開の場合 傍聴者1人) ----- (非公開の場合理由)
出席委員氏名	佐々木康裕委員、石井秀典委員、折原奈緒美委員、螺良多加子委員、森田弘委員、長谷川翔太委員
審議の概要	※三田好子委員、山中珠恵委員、吉田みゆき委員は都合により欠席 (1) 杉戸町水道事業経営戦略(案)について 第5章から第8章までを章ごとに説明、その後質疑応答。 (第5章) 長谷川会長 ダウンサイジングの検討は。 事務局 配水池の更新を視野に入れていますが。その際、将来を踏まえ配水池の容量の検討を考えています。 石井委員 46ページ、防災安全対策について。 自家用発電設備については、東日本大震災クラスを想定した耐震性を有しているのか。 事務局 しています。 石井委員 管路の安全性はどうか。 事務局 ある程度は耐えられますが、想定以上となると不明です。 石井委員 この文面だけでは理解することが難しい。 47ページ、ア 職員は有資格者が対応するのか。 また、技術研修はどうなっているのか。 事務局 自家発電機を有する施設においては、危険物取扱の資格を持つ必要があり、有資格者が対応しています。 また、再任用職員からの技術継承を心掛けています。 長谷川会長 55ページ、シミュレーション①、②として、水道料金を算定した根拠はどのような理由によるものか。

- 事務局 町の課題である運転資金の確保を前提として、営業収益対資金残高比率を軸に設定しました。40%アップであれば掲げた課題のすべてを解決できますが、住民負担についても十分考慮する必要があると考えました。35%アップであれば、営業収益対資金残高比率が令和5年度県内平均数値を超えるため、この数字で設定しました。
- 長谷川会長 企業債残高が高くなるが、どう考えているのか。
- 事務局 32 ページ、営業収益対資金残高比率の数値を踏まえつつ、無理のない借入を計画としています。
- 佐々木委員 R9 から水道料金 35%値上げが確定ということなのか。
- 事務局 今回は経営戦略上必要な料金収入の試算となります。料金改定の本格的な審議につきましては、別途行うこととなります。
- 佐々木委員 近隣類似団体の動向はどうなっているのか。
- 事務局 幸手市が料金改定の審議会を実施しており、10月に改定予定と聞いています。
- 長谷川会長 最近の改定率の実績は、4割前後が多くなっている。
能登半島地震の影響で、耐震化への財源確保として高めの改定率が多くなっている。
- 森田委員 下水道使用料の改定はどうなっているのか。
- 事務局 水道事業と同様、経営戦略の審議会を現在開催しています。
- 佐々木委員 本業以外の収益はあるのか。
- 事務局 特に大きな収入源となるものはありません。太陽光発電などが想定される場所ですが、規模的に収益確保の見通しが難しいので、杉戸町は行っていません。
- 折原委員 35%という数字を聞くと驚くが、27年値上げしていないとなると、納得せざるを得ない。
- 螺良委員 27年も値上げしていないと聞くと、これまでよく水道事業を維持できたと感心しています。料金については、住民説明会等で住民全体に周知するきっかけをつくって欲しい。
- 事務局 まずは、事業を知っていただき、その上で料金改定を説明していきたいと考えています。
- 長谷川会長 35%は、平均改定率ということか。
- 事務局 経営戦略上、目標を達成するために必要な料金収入を得る率となります。
- (第6～8章)
- 長谷川会長 管路更新率 0.74%は他団体より高い数値で、優れている。目標数値の 1.00%も高い数値であるが、達成できるようしっかり事業運営をしてほしい。
- 石井委員 今後の予定は。
- 事務局 今後のスケジュールについては、この会議の意見等も踏まえ、経営戦略(案)を調整した上でパブリックコメントを行います。パブリックコメントの期間は11月26日から12月25日までです。
その後、第4回審議会を1月16日に行います。ここではパブリックコメントに寄せられた意見を取りまとめた結果を提示するほか、委員からいただいた意見をお示しする予定です。
- 森田委員 答申案は。
- 事務局 次回の審議会でご答申案を提示したいと考えています。

杉戸町附属機関等の会議の公開要領第7の規定により署名する。

令和 8 年 1 月 16 日

署名委員

螺良多加子

署名委員

折原奈緒美